

国立曽爾青少年自然の家 バーディ＋一般		2014	2015	2016	2017		こくりつそにせいしょうねんしぜんのいえ バーディ		2014	2015	2016	2017	
		9月	9月	9月	9月				9月	9月	9月	9月	
		14-15	21-22	18-19	17日	18日			14-15	21-22	18-19	17日	18日
		天候	晴曇	曇晴	曇り	台風			くもり	てんこう	はれ・くもり	くもり・はれ	くもり
4	ヤマドリ						463	ヒヨドリ	○	○	○		○
5	キジ	○					464	ウグイス	○	○	○		○
32	カルガモ		○	○		○	465	ヤブサメ					
74	キジバト	○		○		○	466	エナガ	○	○	○		
78	アオバト			○			476	オオムシクイ					
127	カワウ	○					477	メボソムシクイ					
139	ゴイサギ						479	エゾムシクイ					
144	アオサギ			○			480	センダイムシクイ					
146	ダイサギ						485	メジロ	○	○	○		○
148	コサギ						492	オオヨシキリ					
184	ジュウイチ						499	セッカ	○	○	○		
185	ホトトギス						502	ゴジュウカラ	○				
187	ツツドリ						503	キバシリ					○
188	カッコウ	○		○			506	ムクドリ					
192	アマツバメ			○			508	コムクドリ					
339	ミサゴ						512	カワガラス					
340	ハチクマ	○		○		○	514	トラツグミ					
342	トビ	○	○	○		○	542	ノビタキ		○			
356	オオタカ						549	イソヒヨドリ					
357	サシバ						552	エゾビタキ		○	○		
358	ノスリ		○				553	サメビタキ		○			
364	クマタカ						554	コサメビタキ			○		○
383	カワセミ						558	キビタキ			○		○
385	ヤマセミ						561	オオルリ		○	○		
390	コゲラ	○	○	○		○	569	スズメ					
392	オオアカゲラ		○	○			573	キセキレイ	○	○			
393	アカゲラ						574	ハクセキレイ		○			○
397	アオゲラ	○	○	○		○	575	セグロセキレイ					
401	チョウゲンボウ	○					587	カワラヒワ					
412	サンショウクイ	○					602	イカル	○		○		
418	サンコウチョウ						610	ホオジロ	○	○	○		○
420	モズ	○				○	614	ホオアカ	○	○			
427	カケス	○	○	○		○							
435	ハシボソガラス												
436	ハシブトガラス	○	○	○		○							
441	コガラ		○										
442	ヤマガラ	○	○	○		○	*	コジュケイ	○		○		
443	ヒガラ	○	○	○		○	*	ドバト					
445	シジュウカラ	○	○	○		○	合計		31	28	32	台風中止	22
452	ヒバリ	○		○									
457	ツバメ	○	○	○		○							
459	コシアカツバメ	○	○	○									
461	イワツバメ	○	○	○		○	★	ヒミズ(モグラ)			○		

国立曽爾青少年自然の家 バーディ+U50 生き物チェックリスト		11	12	13	17	こくりつそにせいしょうねんしぜんのいえ バーディ+U50 いきものチェックリスト	11	12	13	17				
		7	7	9	9		7	7	9	9				
		17-8	15-6	15-6	17-18		17-8	15-6	15-6	17-18				
昆虫類ほか											むしのなかま			
◎チョウ・ガのなかま						19	ハネナガイナゴ			○				
1	キチョウ	○				20	ハラオカメコオロギ						○	
2	ウラギンシジミ				○	21	クルマバッタモドキ						○	
3	ヤマトシジミ	○				22	クビキリギス						○	
4	キマダラセセリ			△		23	カマドウマの一種			○	○			
5	モシロチョウ				○	◎トンボのなかま								
6	アサギマダラ		○			1	アキアカネ			○	○		○	
7	ヒメジャノメ					2	シオカラトンボ					△	○	
8	ヨシカレハ				○	3	オニヤンマ			○	○			
9	アカタテハ	○			○	4	ウスバキトンボ			○	○	△		
10	ジャノメチョウ	○				5	ノシメトンボ							
11	オオスカシバ	○				6	オナガサナエ							
12	ヒョウモンチョウの一種	○				7	ハラビロトンボ			○	○			
13	ベニシジミ	○	○			8	オオシオカラトンボ						△	
14	ムラサキシジミ	○				◎セミ・ハゴロモ／カメムシのなかま								
15	フトオビエダシャク	○				1	ツクツクボウシ							
16	モンキチョウ	○	○		○	2	ニイニイゼミ			○	○			
17	ミドリヒョウモン		○			3	アブラゼミ							
18	ヒメジャノメ		○			4	ヒグラシ			○	○			
19	ヒメウラナミジャノメ			△		5	ホシアワフキ						○	
◎カブトムシのなかま						6	アワフキムシ			○				
1	クロルリトゲハムシ					7	ヒメホシカメムシ							
2	オオセンチコガネ			△	○	8	ミンミンゼミ						○	
3	キマワリ					9	オオヨコバイ						○	
4	カナブン	○				10	ツマグロオオヨコバイ						○	
5	ナナホシテントウ	○			○	11	ヒメアメンボ						○	
6	ナミテントウ				○	◎ハチ・アリ／ハエ・カのなかま								
7	エンマコガネ					1	コガタスズメバチ						○	
8	マメコガネ	○	○			2	クロオオアリ			○	○			
9	コフキコガネ	○				3	マダラアシナガバエ							
10	スジクワガタ	○				4	ムネアカオオアリ			○			○	
11	コクワガタ	○				5	キムネクマバチ						○	
12	シデムシ	○				6	キイロスズメバチ						○	
13	アオカナブン	○	○			◎クモのなかま／その他(両生類・爬虫類ほか)								
14	コアオハナムグリ			○	○	1	ジョロウグモ						○	
15	ムネアカセンチコガネ			△		2	ザトウムシ						○	
16	ダイコクコガネの一種			△		3	トノサマガエル				○		○	
◎バッタ・コオロギのなかま						4	ニホンアマガエル						○	
1	ヒシバッタ	○	○			5	カバキコマチグモ			○			○	
2	キリギリス	○	○		○	6	ニホントカゲ				○			
3	ツユムシ					7	ニホンカナヘビ				○		○	
4	コバネイナゴ	○				8	シュレーゲルアオガエル						○	
5	ショウリョウバッタ	○			○	◎リストにない昆虫など								
6	オンブバッタ	○	○	○	○	1	カマキリの一種			○			○	
7	ショウリョウバッタモドキ				○	2	トビケラの一種						○	
8	アオマツムシ					3	オオカマキリ						○	
9	トノサマバッタ				○	4	コカマキリ						○	
10	シバスズ					5	ヒメカマキリ						○	
11	スズムシ			○	○	6	カンタン						○	
12	ヒメギス		○		○	7	シリアゲムシ						○	
13	マダラバッタ													
14	セスジツユムシ			○	○									
15	アシグロツユムシ													
16	エダナナフシ		○											
17	フキバッタ	○												
18	エンマコオロギ			○	○									

曽爾高原のトンボ科のトンボ



アキアカネ

曽爾高原に多くいるアカトンボはアキアカネです。
このトンボは気温30度を超えると死んでしまうので
夏場は高原等に避難しています。

最近地球温暖化で秋でも気温が下がらずなかなか
生まれた里の田んぼに帰れません。

近年田んぼの変化もあり極端に数を減らしています。



ナツアカネ

曽爾高原ではほとんど見られませんが
ナツアカネはアキアカネによく似ています。
区別するには捕まえて胸の模様を見ます。
3本ある線の真ん中の模様が平に切れているのが
ナツアカネ、とがって切れているのがアキアカネです。
またオスが顔が赤いのもナツアカネです。



ウスバキトンボ

曽爾高原でも確認されているウスバキトンボです。
このトンボは南方系のトンボで冬を越せません。
ですから冬には全て死滅してしまいます。
毎年沖縄以南の熱帯地方から飛んできます。
アキアカネと逆で地球温暖化で冬を越すことが
できれば大量に数を増やすことになります。



ノシメトンボ

アカネ属の最大種のノシメトンボです。
移動能力も高く里山から高山まで見られます。
左の写真のようにトンボ科のトンボは主に
体を水平にしてとまります。
ただし、トンボ科のウスバキトンボは写真の通り
ヤンマ科のトンボのようにぶら下がってとまります。